

## 防災歳時記 (24)

# — 笄の渡し —

NHK 放送用語委員会専門委員

元 気象庁天気相談所長

宮 澤 清 治

### 笄(こうがい)の渡し

“矢切の渡し、”という有名な演歌がある。

渡しとは、舟で人や物を対岸に運ぶことで、渡し舟が往来する場所が渡し場、である。

昔、信州で橋が少なかったころ、渡し場がたくさんあった。そのひとつ、長野県上山田町と対岸の坂城町を結ぶところに「笄の渡し」と呼ぶ渡し場があった。今はその場所の千曲川に笄橋という橋が架かっている。

かつて放映された NHK 大河ドラマ「武田信玄」を思いだすことにしよう。

—いまの戸倉・坂城の町境にあった葛尾城の城主村上義清は、武田晴信(信玄)の大軍に攻められて孤立無援となり、1553年(天文22年)ついにその城を放棄するに至った。

義清は、越後春日山城の長尾景虎(上杉謙信)に救援をもとめ、自分の妻と娘を春日山城に落ち延びさせようとした。

妻子は、葛尾城の下の渡し場にたどり着いた。ところが、慌てていたため渡し銭の持ち合わせがなく、気があせるばかりで困ったことになった。このとき、妻はとっさの判断で自分の髪にさしていた笄を舟賃代わり

笄とは昔、婦人の日本髪のまげにさす装飾品で、金・銀・べっこうなどで作り、高価なものもあった。

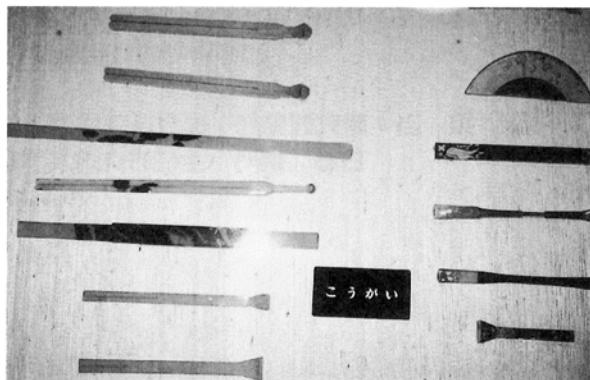
近くの村の人たちは、いつのまにか、この渡しを「笄の渡し」と呼ぶようになった。

### 綱の張り具合で天気を予知

渡し場の近くに住む人々は、次のような天気ことわざを後世に残した。

「渡し場の綱が水面に垂れ下がると雨、引き締まれば晴れ」

船頭は、両岸を結ぶ綱を繰り、対岸に舟を



笄 (こうがい)

進める。綱はおそらく麻の太いロープだと  
思われる。空気中の水蒸気が増えて雨が近  
くなると、ロープはたっぷりと水蒸気を吸  
うので伸びて垂れ下がる。反対に空気が乾  
くと、ロープは縮んで引き締まるというわ  
け。

それにしても村人が、綱の張り具合を注  
意深く観察して、天気を予知した知恵は大  
したものである。ロープの代わりに人間の  
毛髪の伸び縮みを利用するのが、今の気象  
観測に使用している毛髪湿度計である。

湿度計の原点は、渡し場のロープにある  
ということができる。

### 毛髪自記湿度計の仕組み

人間の毛髪は、一段に空気が乾いている  
と縮み、湿っていると伸びる性質がある。

毛髪の長さは、湿度が100%のときは、0%の  
ときの長さの約1.5%伸びるといわれる。こ  
のわずかな伸び縮みを拡大して、湿度を自  
動的に記録紙に書かせるのが、毛髪自記湿  
度計である。

近ごろは、博物館の重要展  
示物のコーナーに空調の監視  
用として置かれているのをよ  
く受ける。

図のように、約20本ぐら  
い束ねた毛髪の両端を固定し、  
毛髪に適当な張力をあたえ  
る。湿度による毛髪の伸縮の  
程度は、拡大機構を通してペ  
ン先に伝え、自記円筒時計に  
巻き付けてある記録紙に描か  
せる。

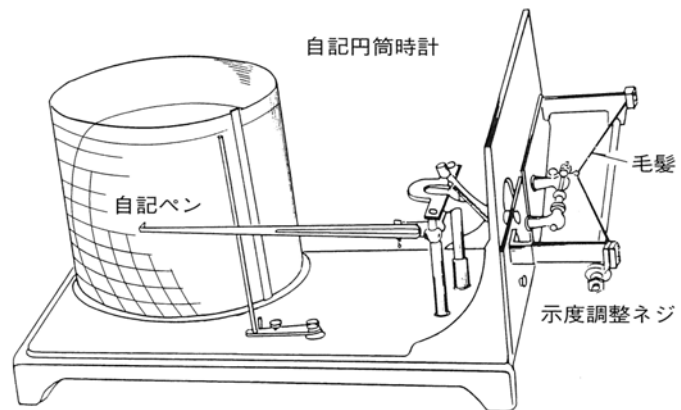
毛髪湿度計は、1783年(天明3年)、ソシュ  
ール(スイス)が発明し、婦人の頭髪が湿度  
計に最も適しているとの提案をした。その  
後の研究では、毛髪の色は黒でも縮れてい  
ても、ほかの動物の毛でも化学処理で使  
用できるようになった。しかし、あまりに太  
い日本人の髪は適さないようだ。

フランス婦人の金髪が適しているという  
昔のロマンチックな提案は、今でも語り継  
がれている。

春は、山火事の発生件数が多い。この原因  
としては、①この時期の森林には、枯れた下  
草や落葉など燃やしやすいものが多く存在し  
ている。②移動性高気圧に覆われると、しば  
しば晴天が続くので空気や樹木などが乾燥す  
る。また、日本海で低気圧が発達して強風が  
吹き、フェーン現象も加わって一層乾燥す  
る。③春には、山菜取りやハイキングなどで  
山に入る人が増える。

などが挙げられる。

昔も、渡し場の綱がピント引き締まった  
ときは山火事が多かったことであろう。



毛髪自記湿度計